

2024年3月14日
株式会社アドバンスト・メディカル・ケア

UVケア・紫外線対策に関する調査2024

リゾートトラスト株式会社のグループ企業であり、東京ミッドタウンクリニックなどの医療施設プロデュース・運営支援やエイジングケア・フェムケアプロダクトの開発に取り組む株式会社アドバンスト・メディカル・ケア(東京都港区、代表取締役社長:古川哲也)は、2024年1月30日~1月31日の2日間、全国の15歳~69歳の男女を対象に「UVケア・紫外線対策に関する調査2024」を実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。(調査協力機関:ネットエイジア株式会社)

== UV ケア製品の使用について ==

「UV ケア製品を使うことがある」女性の 80%、男性では 34%にとどまる

使うことがある UV ケア製品

1 位「日焼け止めクリーム」2 位「日焼け止めスプレー」3 位「日焼け止めパウダー」

使いたい UV ケア製品も効果的な使い方を知りたい UV ケア製品も

3 位には「紫外線対策サプリメント」

最近注目している UV ケア製品 30 代女性では「紫外線対策サプリメント」が 1 位

UV ケア製品を使用することがある季節

女性では「季節に関わらず一年中」、男性では「夏だけ」が最多

UV ケア製品を使用するシチュエーション

「天気や屋外・屋内を問わず常に」と回答した人は

UV ケア製品使用者の 31%にとどまる

UV ケア製品を携行するシチュエーション

「紫外線指数(UV 指数)が高いとき」と回答した人は

UV ケア製品使用者の 20%にとどまる

UV ケア製品を使用すると良いと思うシチュエーション

「天気や屋外・屋内を問わず常に」と回答した人は

UV ケア製品を使用する女性の 60%、男性ではわずか 24%

日焼け止めを塗りなおす回数 平均は 0.8 回/日

“追い UV ケア”をしているのは日焼け止め使用者の 47%

UV ケア製品選びで重視していること

1 位「ベタベタしない」2 位「汗や水に強い」3 位「SPF 値や PA 値が高い」

10 代女性では「化粧下地になる」「肌色を明るく美しく見せる(トーンアップ効果)」、

30 代女性では「SPF 値や PA 値が高い」「落としやすい」が高い傾向

== 紫外線対策に関する意識・経験について ==

「もっと早く UV ケアをしておけばよかった」40 代以上女性の 80%が実感

日焼け止めに関する本音 「日焼け止めが肌に合わないことがある」女性の 44%、

「1 日に何回も日焼け止めを塗るのは面倒だと思う」女性の 87%

「自分は日焼けしにくいと思う」男性の 32%、
「日焼けをしているほうがカッコいい」男性の 48%、
「日焼けは怖くない」男性の 49%

「自分は日焼けしにくい」と回答した人の 62%、
「日焼けをしているほうがカッコいい」と回答した人の 52%、
「日焼けは怖くない」と回答した人の 71%が UV ケア製品を使うことはないと回答
「肌荒れ・シミなど日焼けによる肌のトラブルについて悩みがある」
男性の 49%、女性では 77%

「肌のトラブルの悩みがある」と回答した女性の 87%が
UV ケア製品を使うことがあると回答

「手軽に紫外線対策を行いたい」50 代・60 代女性の 96%

== 紫外線に関する正しい情報・マメ知識の認知率について ==

紫外線に関する正しい情報・マメ知識の認知率は？

「紫外線は雨の日にも降り注ぐ」では 68%、
「日本では紫外線量は 4 月から 9 月頃にピークを迎える」では 56%
「紫外線によるダメージをからだの内側からケアする方法があること」は
30 代女性の 56%が「知っていた」と回答

“光老化”に注意 「紫外線が肌の老化の原因になる」の認知率は 80%

== UVケア・紫外線対策にかける金額について ==

UVケアにかけている金額 平均は 1,578 円/月

今後、UV ケアにかけたい金額 平均は 1,678 円/月

紫外線対策サプリメントの購入にかけてもよいと思う金額
平均は 1,152 円/月、10 代女性では 1,284 円/月

== UV ケアを教えてほしい、“美肌”のキャラクター ==

UV ケアを教えてほしい、“美肌”のアニメ・漫画のキャラクター
男性キャラクター 1 位は「五条悟」、女性キャラクター 1 位は「ナミ」

報道関係の皆様へ

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ILACY(アイラシイ)調べ <https://www.ilacy.jp/>」
と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

調査結果

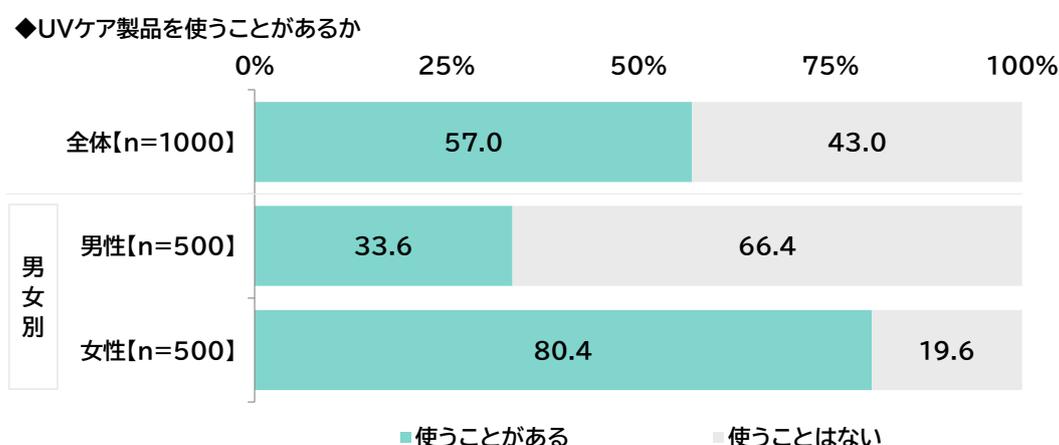
【UVケア製品の使用について】

- ◆「UVケア製品を使うことがある」女性の80%、男性では34%にとどまる
- ◆使うことがあるUVケア製品 1位「日焼け止めクリーム」2位「日焼け止めスプレー」3位「日焼け止めパウダー」

全国の15歳～69歳の男女1,000名(全回答者)に、UVケア製品について質問しました。

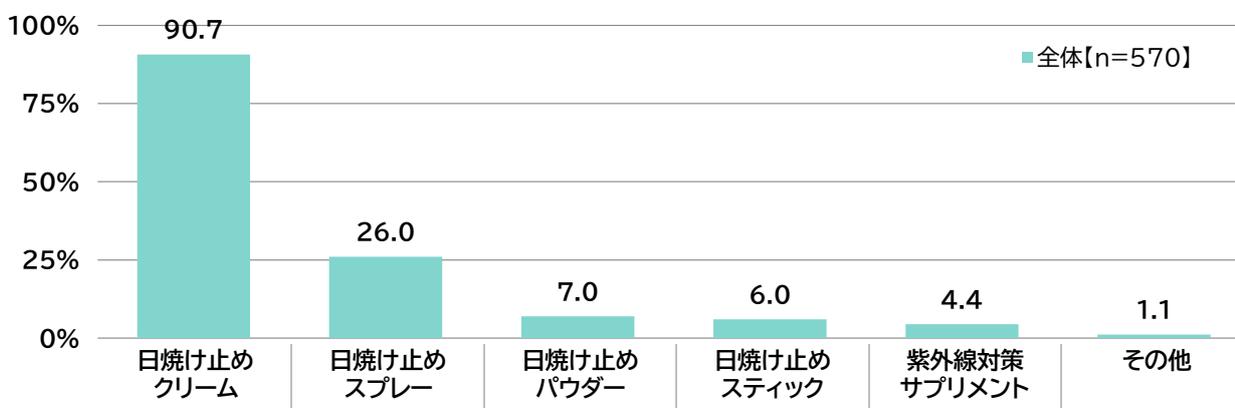
まず、全回答者(1,000名)に、UVケア製品を使うことがあるか聞いたところ、「使うことがある」は57.0%、「使うことはない」は43.0%となりました。紫外線から肌を守るためのケアとして、UVケア製品を使用している人は多いようです。

男女別にみると、UVケア製品を使うことがあると回答した人の割合は、男性では33.6%、女性では80.4%でした。



UVケア製品を使うことがある人(570名)に、使うことがあるUVケア製品を聞いたところ、「日焼け止めクリーム」(90.7%)が突出して高くなり、「日焼け止めスプレー」(26.0%)、「日焼け止めパウダー」(7.0%)、「日焼け止めスティック」(6.0%)、「紫外線対策サプリメント」(4.4%)と続きました。

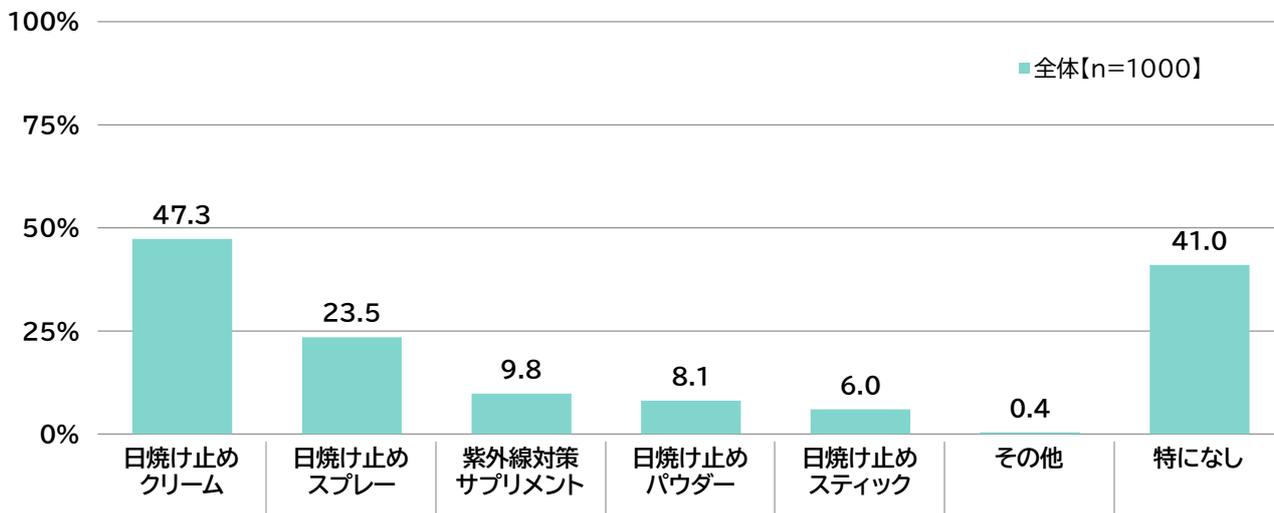
◆使うことがあるUVケア製品 [複数回答形式] 対象:UVケア製品を使うことがある人



◆使いたいUVケア製品も効果的な使い方を知りたいUVケア製品も3位には「紫外線対策サプリメント」

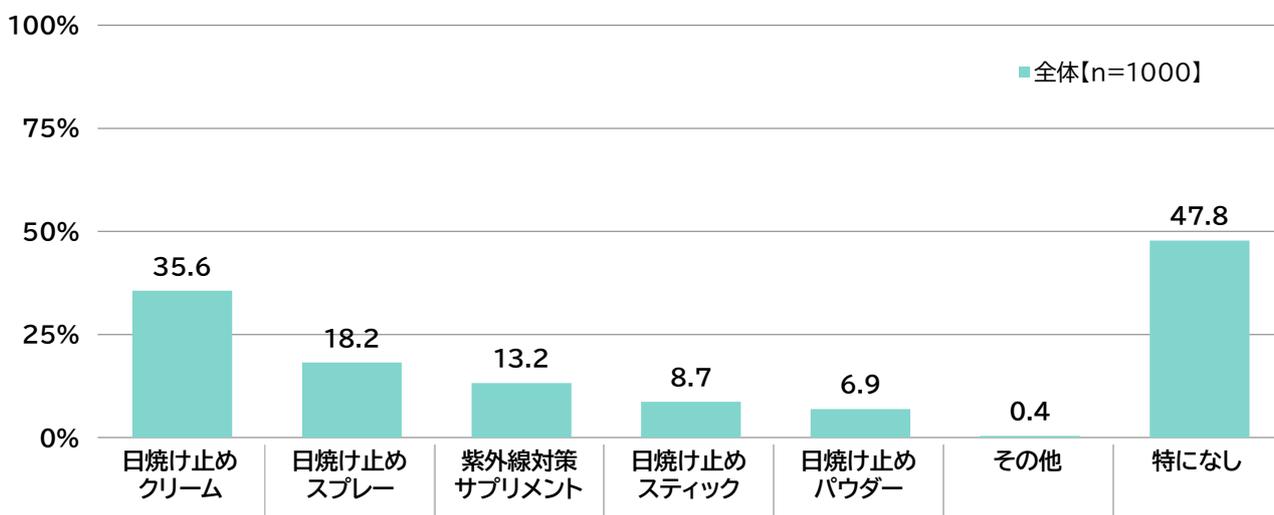
次に、全回答者(1,000名)に、使いたいUVケア製品を聞いたところ、1位「日焼け止めクリーム」(47.3%)、2位「日焼け止めスプレー」(23.5%)、3位「紫外線対策サプリメント」(9.8%)となりました。

◆使いたいUVケア製品 [複数回答形式]



また、効果的な使い方を知りたいUVケア製品を聞いたところ、1位「日焼け止めクリーム」(35.6%)、2位「日焼け止めスプレー」(18.2%)、3位「紫外線対策サプリメント」(13.2%)となりました。

◆効果的な使い方を知りたいUVケア製品 [複数回答形式]

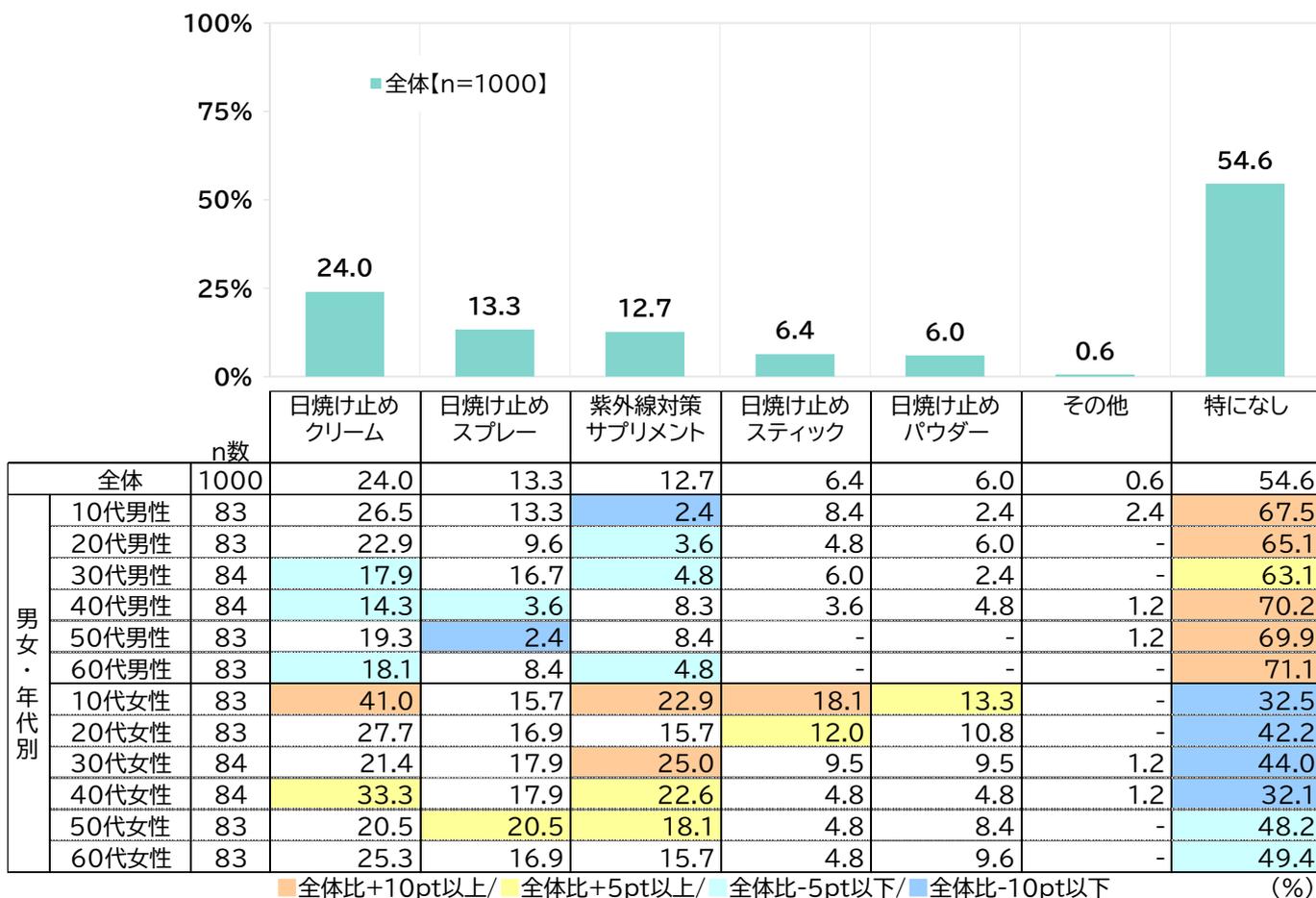


◆最近注目しているUVケア製品 30代女性では「紫外線対策サプリメント」が1位

続いて、最近注目しているUVケア製品を聞いたところ、1位「日焼け止めクリーム」(24.0%)、2位「日焼け止めスプレー」(13.3%)、3位「紫外線対策サプリメント」(12.7%)となりました。

男女・年代別にみると、30代女性では「紫外線対策サプリメント」(25.0%)が1位でした。30代女性には、手軽に取り入れることができる“飲む紫外線ケア”に関心を持っている人が多いようです。

◆最近注目しているUVケア製品 [複数回答形式]



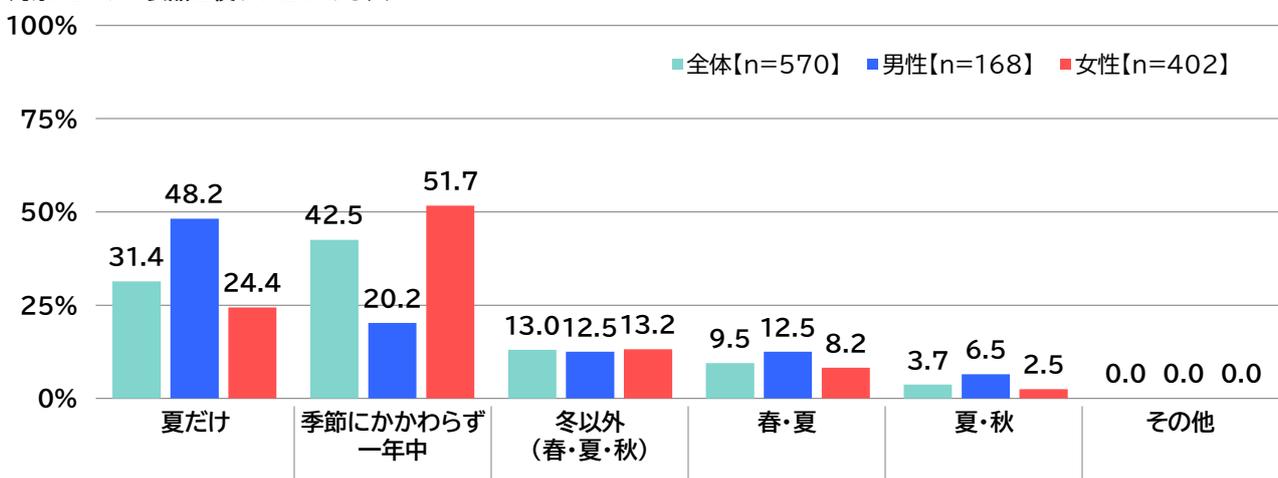
- ◆UVケア製品を使用することがある季節 女性では「季節に関わらず一年中」、男性では「夏だけ」が最多
- ◆UVケア製品を使用するシチュエーション
「天気や屋外・屋内を問わず常に」と回答した人はUVケア製品使用者の31%にとどまる
- ◆UVケア製品を携行するシチュエーション
「紫外線指数(UV指数)が高いとき」と回答した人はUVケア製品使用者の20%にとどまる
- ◆UVケア製品を使用すると良いと思うシチュエーション
「天気や屋外・屋内を問わず常に」と回答した人はUVケア製品を使用する女性の60%、男性ではわずか24%

UVケア製品を使うことがある人(570名)に、UVケア製品を使用する季節やシチュエーションについて質問しました。UVケア製品を使用することがある季節を聞いたところ、「季節にかかわらず一年中」(42.5%)が最も高くなり、「夏だけ」(31.4%)、「冬以外(春・夏・秋)」(13.0%)、「春・夏」(9.5%)、「夏・秋」(3.7%)と続きました。

男女別にみると、男性では「夏だけ」(48.2%)、女性では「季節にかかわらず一年中」(51.7%)が最も高くなりました。

◆UVケア製品を使用することがある季節 [単一回答形式]

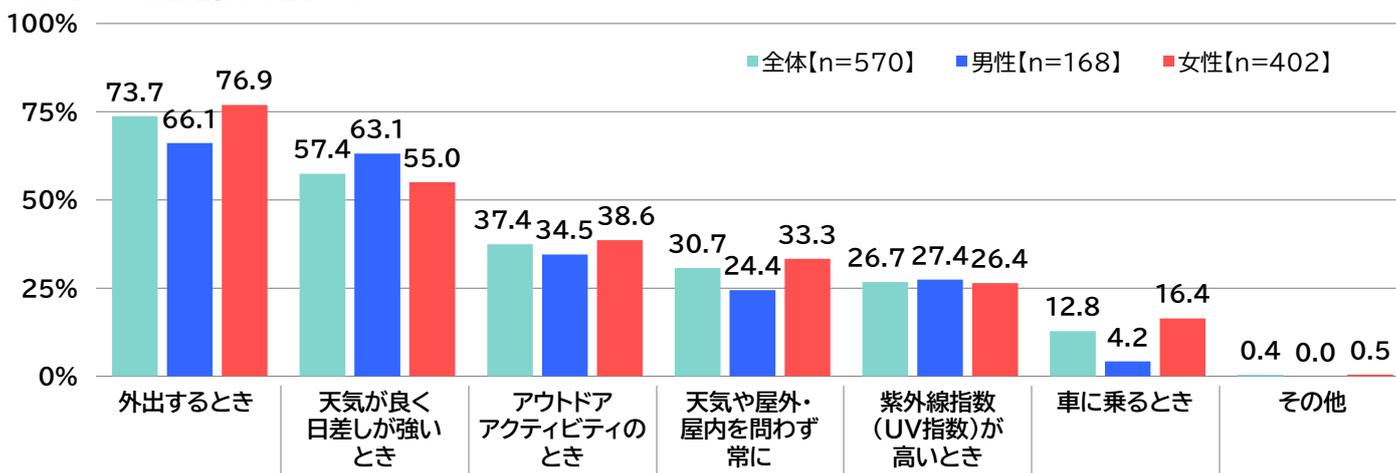
対象:UVケア製品を使うことがある人



UVケア製品をどのようなシチュエーションで使用するか聞いたところ、「外出するとき」(73.7%)や「天気が良く日差しが強いとき」(57.4%)は半数を上回った一方、「天気や屋外・屋内を問わず常に」(30.7%)や「紫外線指数(UV指数)が高いとき」(26.7%)は約3割、「車に乗るとき」は約1割にとどまりました。

◆UVケア製品をどのようなシチュエーションで使用するか [複数回答形式]

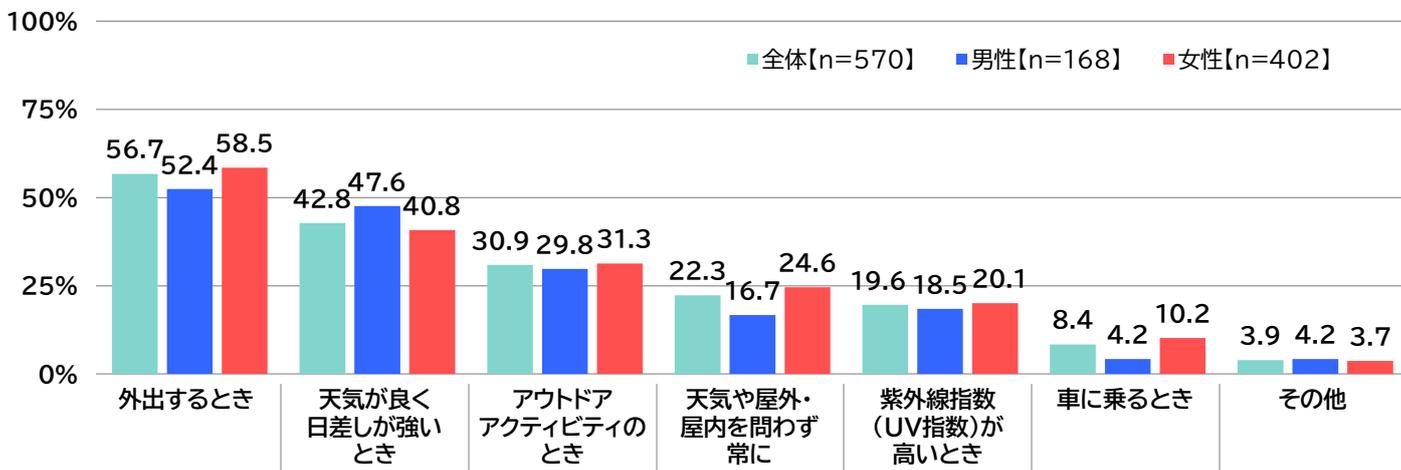
対象:UVケア製品を使うことがある人



UVケア製品をどのようなシチュエーションで携行するか聞いたところ、「外出するとき」(56.7%)が最も高くなり、「天気
が良く日差しが強いとき」(42.8%)、「アウトドアアクティビティのとき」(30.9%)が続きました。また、「天気や屋外・屋内を
問わず常に」(22.3%)や「紫外線指数(UV指数)が高いとき」(19.6%)は約2割にとどまりました。

◆UVケア製品をどのようなシチュエーションで携行するか【複数回答形式】

対象:UVケア製品を使うことがある人

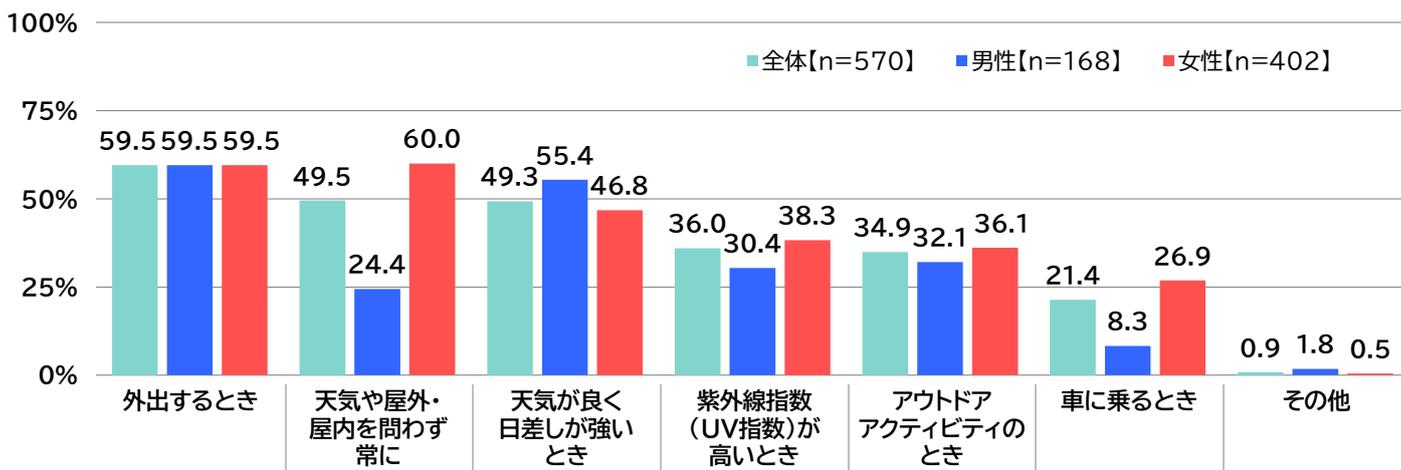


UVケア製品をどのようなシチュエーションで使用するのが良いと考えるか聞いたところ、「外出するとき」(59.5%)が最
も高くなり、「天気や屋外・屋内を問わず常に」(49.5%)、「天気が良く日差しが強いとき」(49.3%)が続きました。

男女別にみると、男性では「天気や屋外・屋内を問わず常に」が24.4%と、女性(60.0%)と比べて35.6ポイント低くなり
ました。曇りの日や屋内にいても紫外線は降り注いでいるため、対策は欠かせません。しかし、天気や屋外・屋
内を問わず常に対策することの必要性を感じている男性は少ないことがわかりました。

◆UVケア製品をどのようなシチュエーションで使用するのが良いと考えるか【複数回答形式】

対象:UVケア製品を使うことがある人



◆日焼け止めを塗りなおす回数 平均は0.8回/日 “追いUVケア”をしているのは日焼け止め使用者の47%

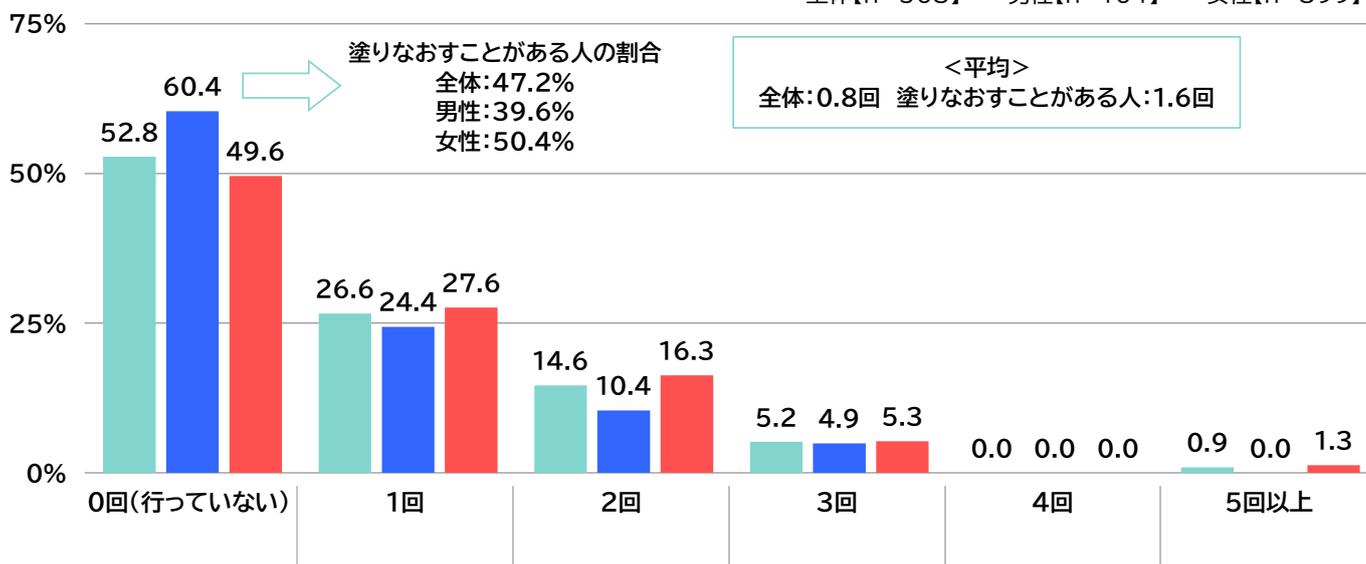
日焼け止めを使用することがある人(563名)に、1日に何回くらい日焼け止めを塗りなおすか聞いたところ、「0回(行っていない)」(52.8%)に多くの回答が集まったほか、「1回」(26.6%)や「2回」(14.6%)にも回答が集まり、平均は0.8回でした。また、塗りなおすことがある人の割合は47.2%、塗りなおすことがある人の平均は1.6回でした。日焼け止めの効果を保つためには、こまめに日焼け止めを塗りなおすことが大切です。日焼け止めの塗りなおしといった“追いUVケア”を行っている人は少なくないことがわかりました。

男女別にみると、塗りなおすことがある人の割合は、女性では50.4%と、男性(39.6%)と比べて10.8ポイント高くなりました。

◆1日に何回くらい日焼け止めを塗りなおすか [数値入力形式]

対象:日焼け止めを使用することがある人

■全体[n=563] ■男性[n=164] ■女性[n=399]



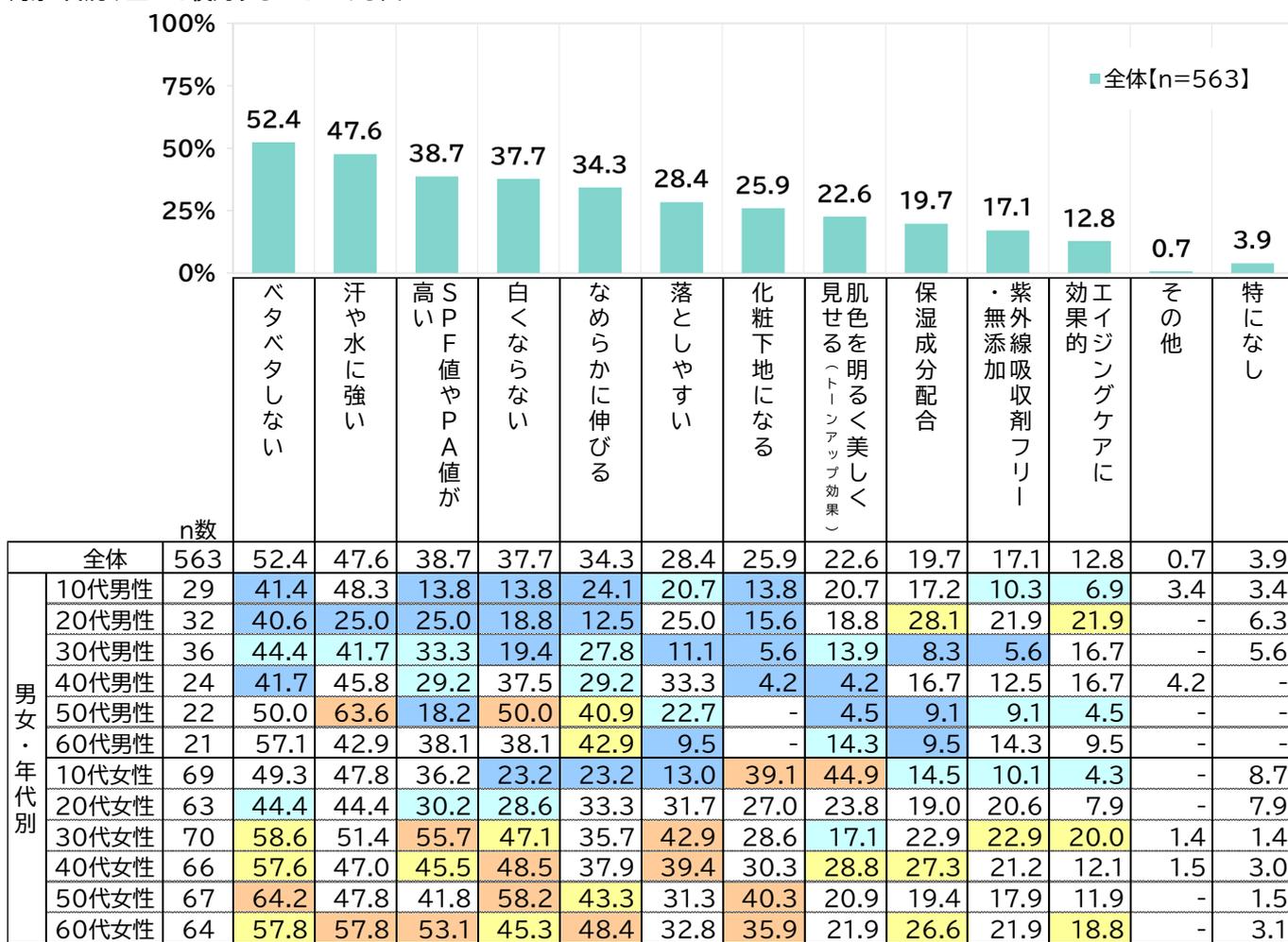
◆UVケア製品選びで重視していること 1位「ベタベタしない」2位「汗や水に強い」3位「SPF値やPA値が高い」
 10代女性では「化粧下地になる」「肌色を明るく美しく見せる(トーンアップ効果)」、
 30代女性では「SPF値やPA値が高い」「落としやすい」が高い傾向

また、日焼け止めを使用することがある人(563名)に、日焼け止めクリーム・スプレー・スティック・パウダーを選ぶ際に重視していることを聞いたところ、「ベタベタしない」(52.4%)が最も高くなりました。日焼け止めを使っていて、ベタつきが気になった経験のある人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「汗や水に強い」(47.6%)、「SPF値やPA値が高い」(38.7%)、「白くならない」(37.7%)、「なめらかに伸びる」(34.3%)でした。

男女・年代別にみると、10代女性では「化粧下地になる」(39.1%)と「肌色を明るく美しく見せる(トーンアップ効果)」(44.9%)、30代女性では「SPF値やPA値が高い」(55.7%)と「落としやすい」(42.9%)が全体と比べて10ポイント以上高くなりました。

◆日焼け止めクリーム・スプレー・スティック・パウダーを選ぶ際に重視していること [複数回答形式]

対象:日焼け止めを使用することがある人



*n数が30未満の属性は参考値
 ■全体比+10pt以上/■全体比+5pt以上/■全体比-5pt以下/■全体比-10pt以下 (%)

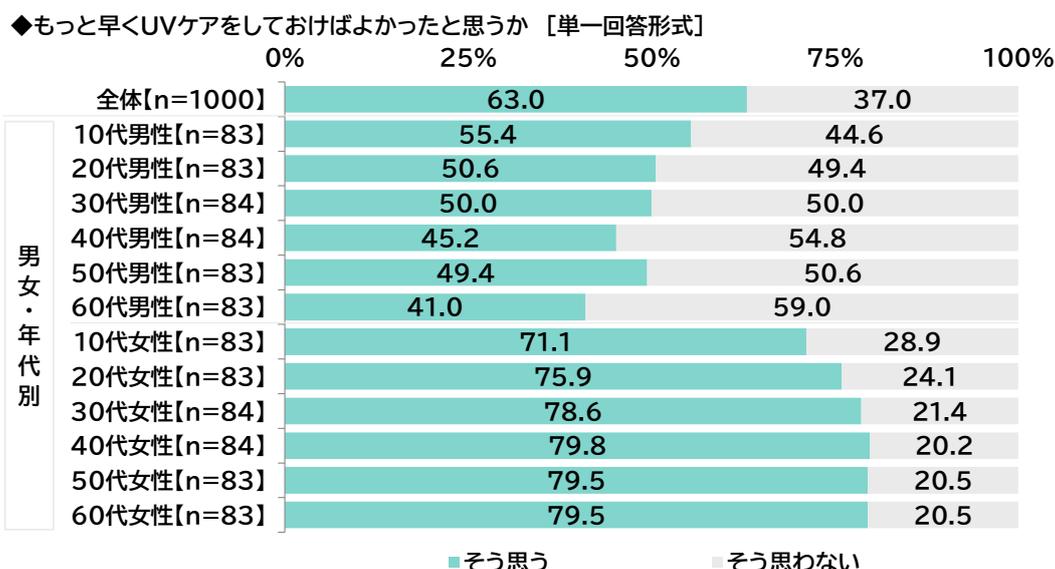
【紫外線対策に関する意識・経験について】

- ◆「もっと早くUVケアをしておけばよかった」40代以上女性の80%が実感
- ◆日焼け止めに関する本音 「日焼け止めが肌に合わないことがある」女性の44%、
「1日に何回も日焼け止めを塗るのは面倒だと思う」女性の87%

紫外線対策について質問しました。

全回答者(1,000名)に、もっと早くUVケアをしておけばよかったと思うか聞いたところ、「そう思う」は63.0%、「そう思わない」は37.0%となりました。UVケアをおろそかにしたために、肌のトラブルや不調を感じるようになった人が多いのではないのでしょうか。

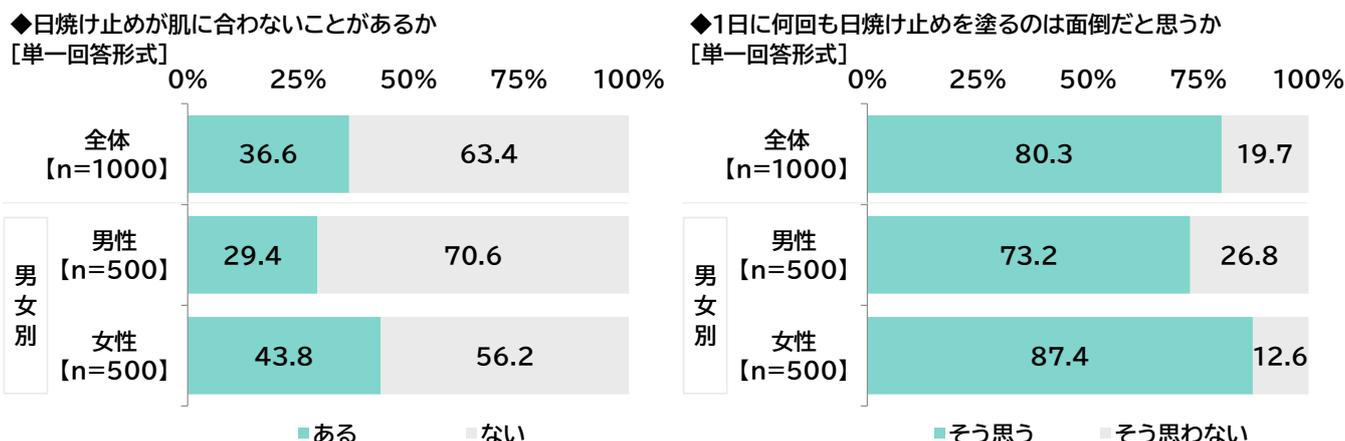
男女・年代別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、いずれの年代も男性と比べて女性のほうが高くなる傾向がみられ、40代以上の女性では8割(40代女性79.8%、50代女性79.5%、60代女性79.5%)でした。



日焼け止めが肌に合わないことがあるか聞いたところ、「ある」は36.6%、「ない」は63.4%となりました。

また、1日に何回も日焼け止めを塗るのは面倒だと思うか聞いたところ、「そう思う」は80.3%、「そう思わない」は19.7%となりました。

男女別にみると、女性では日焼け止めが肌に合わないことがあると回答した人の割合は43.8%、1日に何回も日焼け止めを塗るのは面倒だと思うと回答した人の割合は87.4%と、男性(順に29.4%、73.2%)と比べて10ポイント以上高くなりました。



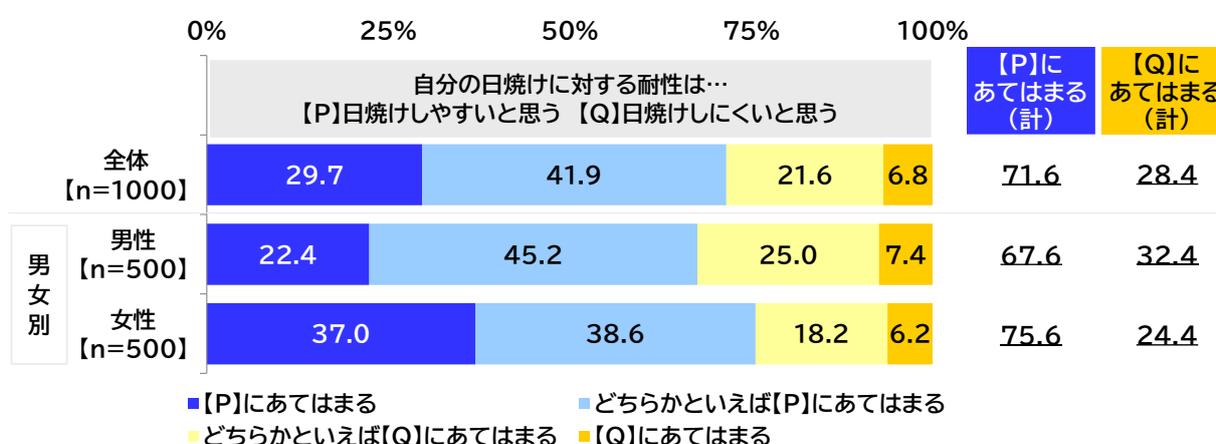
- ◆「自分は日焼けしにくいと思う」男性の32%、「日焼けをしているほうがカッコいい」男性の48%、「日焼けは怖くない」男性の49%
- ◆「自分は日焼けしにくい」と回答した人の62%、「日焼けをしているほうがカッコいい」と回答した人の52%、「日焼けは怖くない」と回答した人の71%がUVケア製品を使うことはないと回答

次に、全回答者(1,000名)に、日焼けに対する意識や実態について質問しました。

「日焼けしやすいと思う」と「日焼けしにくいと思う」のどちらにあてはまるか聞いたところ、『日焼けしやすいと思う(計)』(「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計、以下同様)は71.6%、『日焼けしにくいと思う(計)』は28.4%となりました。

男女別にみると、『日焼けしにくいと思う(計)』と回答した人の割合は、男性では32.4%と、女性(24.4%)と比べて8.0ポイント高くなりました。

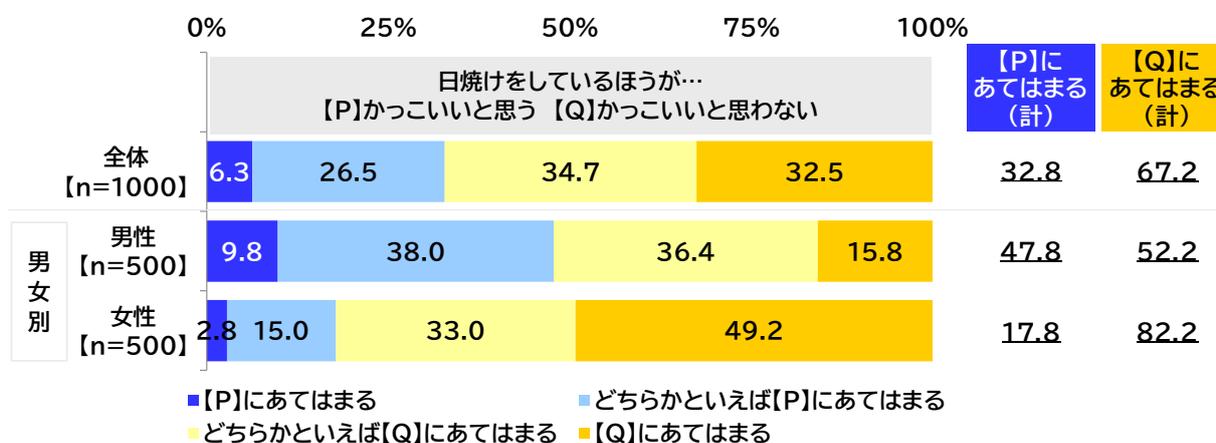
◆自身の考えや状況は、どちらにあてはまるか [単一回答形式]



日焼けをしているほうが、「カッコいいと思う」と「カッコいいと思わない」のどちらにあてはまるか聞いたところ、『カッコいいと思う(計)』は32.8%、『カッコいいと思わない(計)』は67.2%となりました。

男女別にみると、『カッコいいと思う(計)』と回答した人の割合は、男性では47.8%と、女性(17.8%)と比べて30.0ポイント高くなりました。

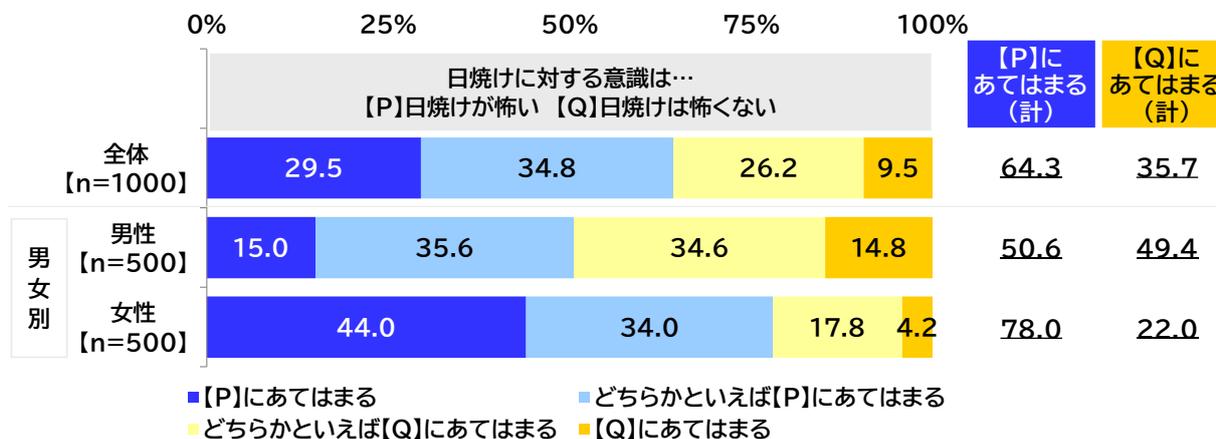
◆自身の考えや状況は、どちらにあてはまるか [単一回答形式]



「日焼けが怖い」と「日焼けは怖くない」のどちらにあてはまるか聞いたところ、『日焼けが怖い(計)』は64.3%、『日焼けは怖くない(計)』は35.7%となりました。

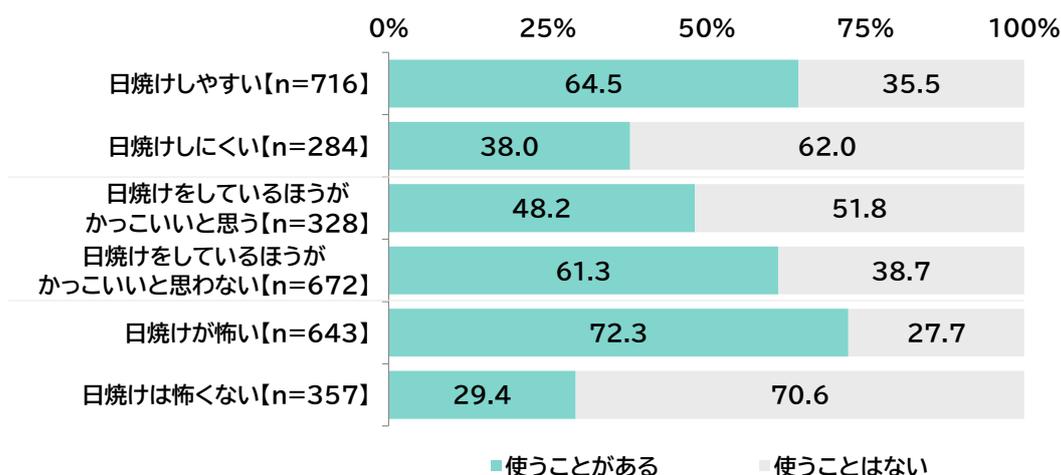
男女別にみると、『日焼けは怖くない(計)』と回答した人の割合は、男性では49.4%と、女性(22.0%)と比べて27.4ポイント高くなりました。

◆自身の考えや状況は、どちらにあてはまるか [単一回答形式]



ここで、UVケア製品の使用状況を見ると、UVケア製品を使うことはないと回答した人の割合は、自分は日焼けしにくいと感じている人では62.0%、日焼けをしているほうがカッコいいと思う人では51.8%となり、日焼けは怖くない人では70.6%と半数を大きく上回りました。日焼けをしにくい体質だと自信を持っている人や日焼けをしていることがカッコいいと感じている人、日焼けをすることに恐怖心や抵抗感がない人ほど、UVケア製品を使ったケアを行っていない実状が明らかとなりました。

◆UVケア製品を使うことがあるか

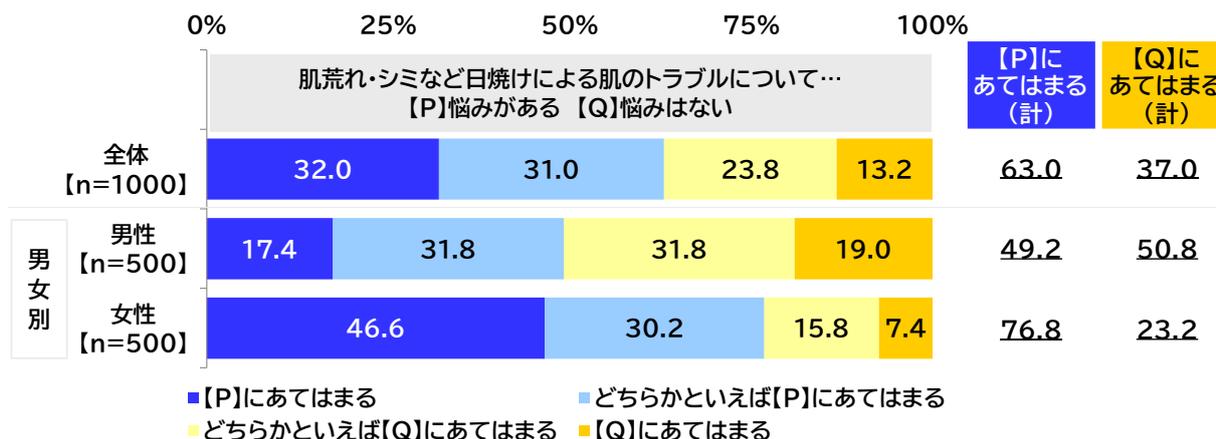


- ◆「肌荒れ・シミなど日焼けによる肌のトラブルについて悩みがある」男性の49%、女性では77%
- ◆「肌のトラブルの悩みがある」と回答した女性の87%がUVケア製品を使うことがあると回答

肌荒れ・シミなど日焼けによる肌のトラブルについて、「悩みがある」と「悩みはない」のどちらにあてはまるか聞いたところ、『悩みがある(計)』は63.0%、『悩みはない(計)』は37.0%となりました。

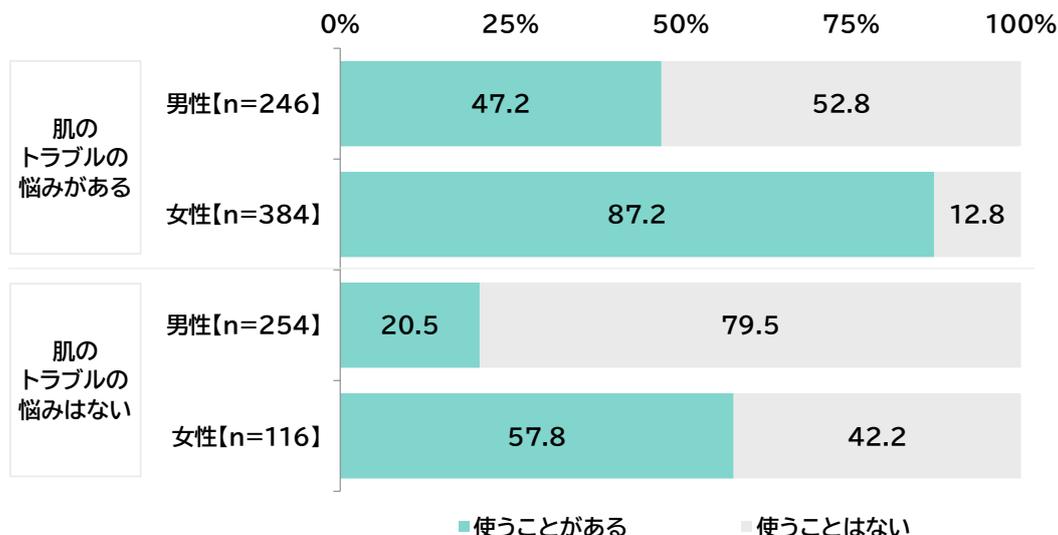
男女別にみると、『悩みがある(計)』と回答した人の割合は、女性では76.8%と、男性(49.2%)と比べて27.6ポイント高くなりました。

◆自身の考えや状況は、どちらにあてはまるか [単一回答形式]



UVケア製品の使用状況を見ると、UVケア製品を使うことがあると回答した人の割合は、肌のトラブルの悩みがある男性では47.2%、肌のトラブルの悩みがある女性では87.2%、肌のトラブルの悩みがない男性では20.5%、肌のトラブルの悩みがない女性では57.8%となりました。

◆UVケア製品を使うことがあるか

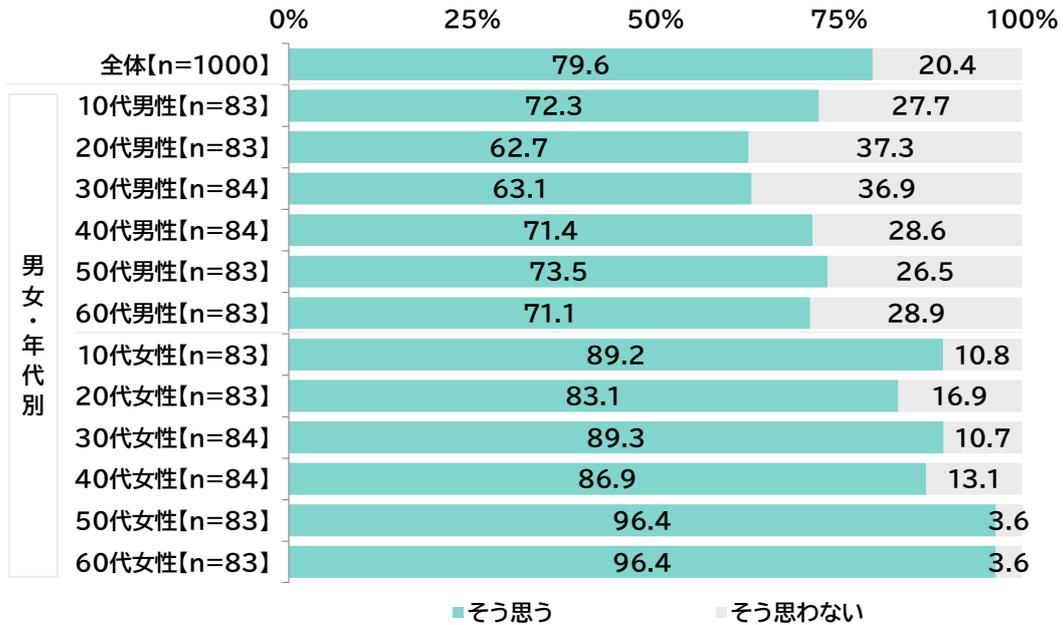


◆「手軽に紫外線対策を行いたい」50代・60代女性の96%

全回答者(1,000名)に、手軽に紫外線対策を行いたいか聞いたところ、「そう思う」は79.6%、「そう思わない」は20.4%となりました。

男女・年代別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、いずれの年代も男性と比べて女性のほうが高くなる傾向がみられ、50代女性と60代女性(いずれも96.4%)では9割を超えました。

◆手軽に紫外線対策を行いたいか [単一回答形式]



【紫外線に関する正しい情報・マメ知識の認知率について】

◆紫外線に関する正しい情報・マメ知識の認知率は？

「紫外線は雨の日にも降り注ぐ」では68%、「日本では紫外線量は4月から9月頃にピークを迎える」では56%

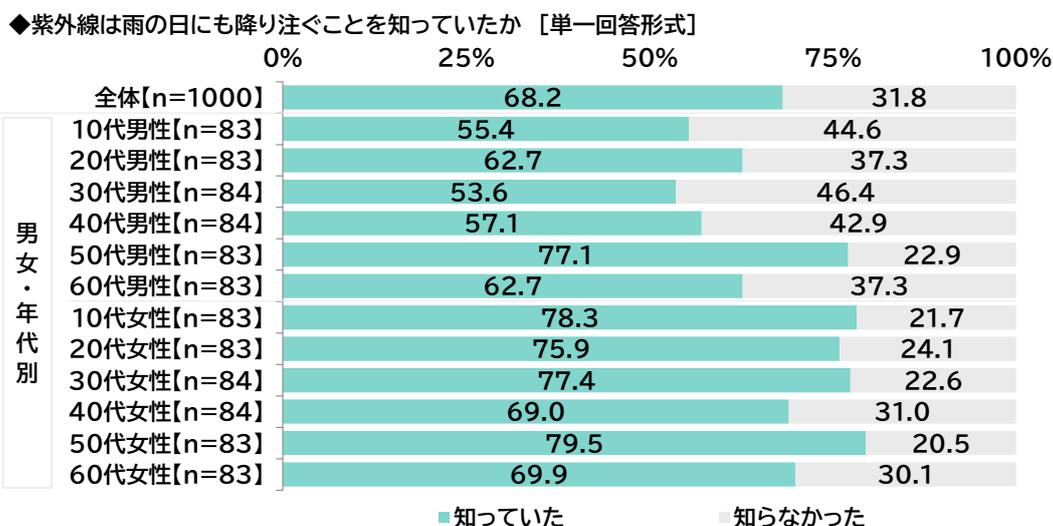
◆「紫外線によるダメージをからだの内側からケアする方法があること」は30代女性の56%が「知っていた」と回答

◆“光老化”に注意 「紫外線が肌の老化の原因になる」の認知率は80%

紫外線に関する正しい情報・マメ知識について質問しました。

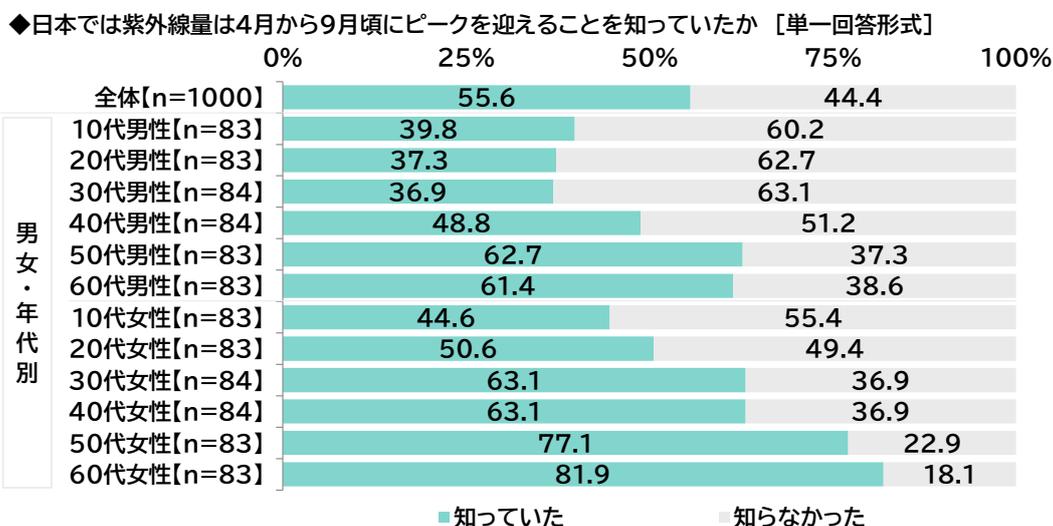
全回答者(1,000名)に、紫外線は雨の日にも降り注ぐことを知っていたか聞いたところ、「知っていた」は68.2%、「知らなかった」は31.8%となりました。

男女・年代別にみると、「知っていた」と回答した人の割合は、男女ともに50代(男性77.1%、女性79.5%)が最も高くなりました。



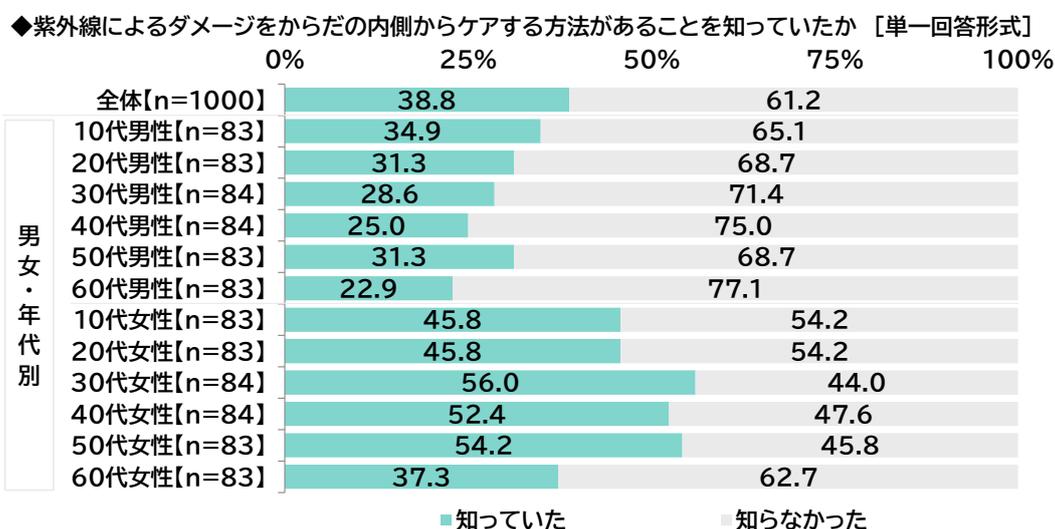
日本では紫外線量は4月から9月頃にピークを迎えることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」は55.6%、「知らなかった」は44.4%となりました。

男女・年代別にみると、「知っていた」と回答した人の割合は、50代女性(77.1%)と60代女性(81.9%)が特に高くなりました。



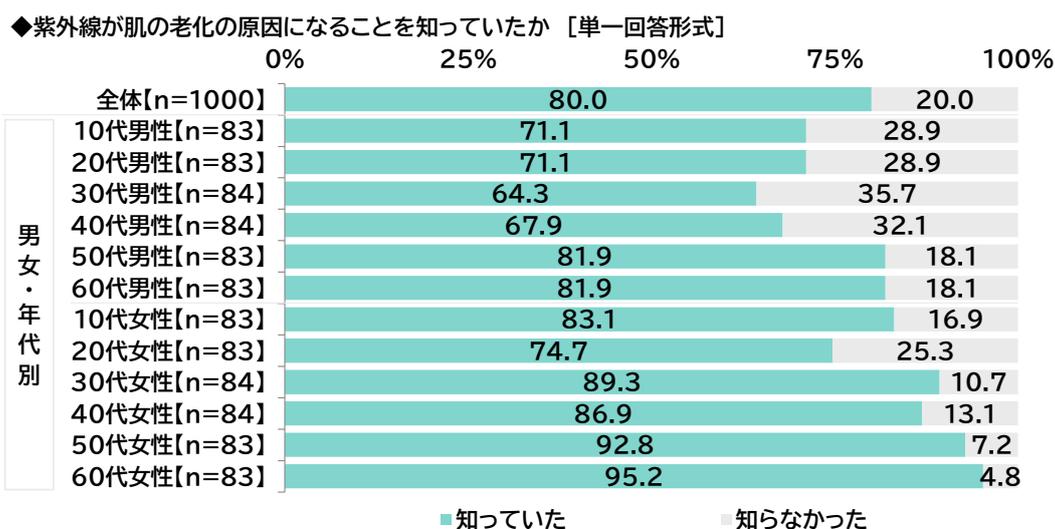
紫外線によるダメージをからだの内側からケアする方法があることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」は38.8%、「知らなかった」は61.2%となりました。

男女・年代別にみると、「知っていた」と回答した人の割合は、30代から50代の女性(30代56.0%、40代52.4%、50代54.2%)では半数を超えました。



紫外線が肌の老化の原因になることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」は80.0%、「知らなかった」は20.0%となりました。紫外線を繰り返し浴びることによって皮膚にシワやたるみなどが現れる老化現象を“光老化”といい、シミもその一つです。紫外線が肌にとって悪影響を及ぼすことについては、大多数が知っている結果となりました。

男女・年代別にみると、「知っていた」と回答した人の割合は、50代女性(92.8%)と60代女性(95.2%)では9割を超えました。



【UVケア・紫外線対策にかける金額について】

- ◆UVケアにかけている金額 平均は1,578円/月
- ◆今後、UVケアにかけたい金額 平均は1,678円/月
- ◆紫外線対策サプリメントの購入にかけてもよいと思う金額 平均は1,152円/月、10代女性では1,284円/月

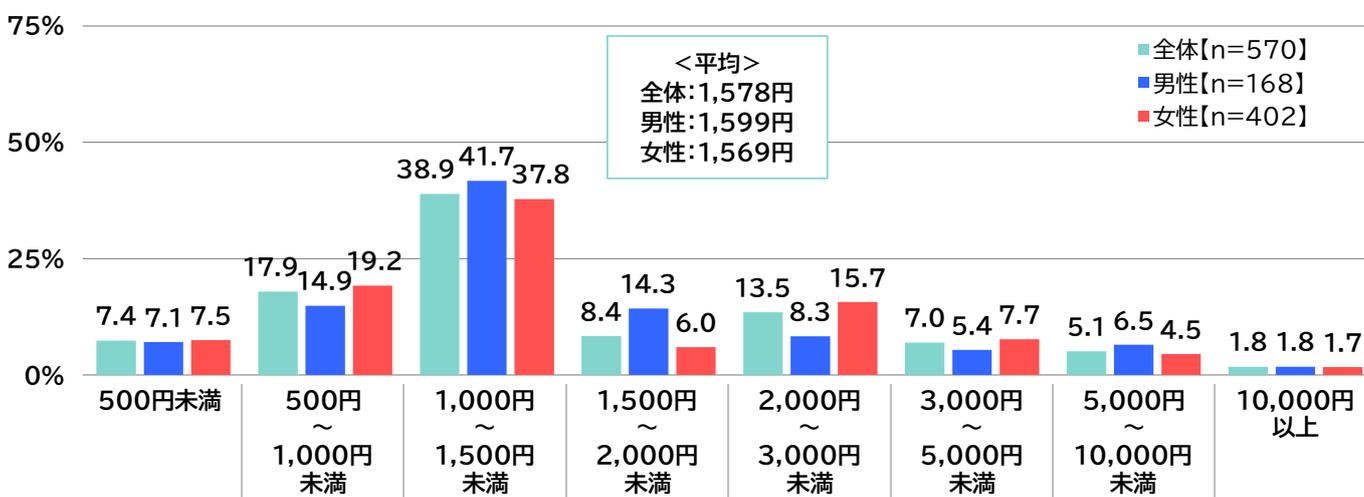
UVケアや紫外線対策にかける金額について質問しました。

UVケア製品を使うことがある人(570名)に、UVケアにひと月あたりどのくらいお金をかけているか(UVケア製品の購入にかけている金額)聞いたところ、「1,000円～1,500円未満」(38.9%)に最も多くの回答が集まり、平均は1,578円でした。

男女別にみると、UVケアにかけている金額の平均は、男性1,599円、女性1,569円でした。

◆UVケアにひと月あたりどのくらいお金をかけているか(UVケア製品の購入にかけている金額)【数値入力形式】

対象:UVケア製品を使うことがある人

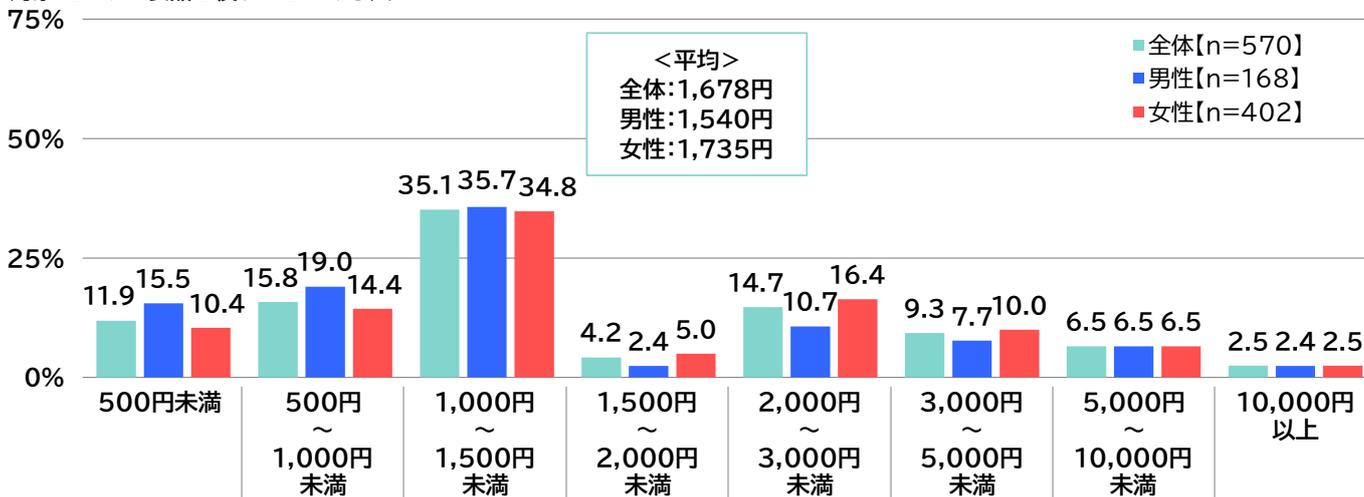


今後、UVケアにひと月あたりどのくらいお金をかけたいか(UVケア製品の購入にかけたい金額)聞いたところ、「1,000円～1,500円未満」(35.1%)に多くの回答が集まり、平均は1,678円でした。

男女別にみると、今後UVケアにかけたい金額の平均は、女性では1,735円と、男性(1,540円)と比べて195円高くなりました。

◆今後、UVケアにひと月あたりどのくらいお金をかけたいか(UVケア製品の購入にかけたい金額)【数値入力形式】

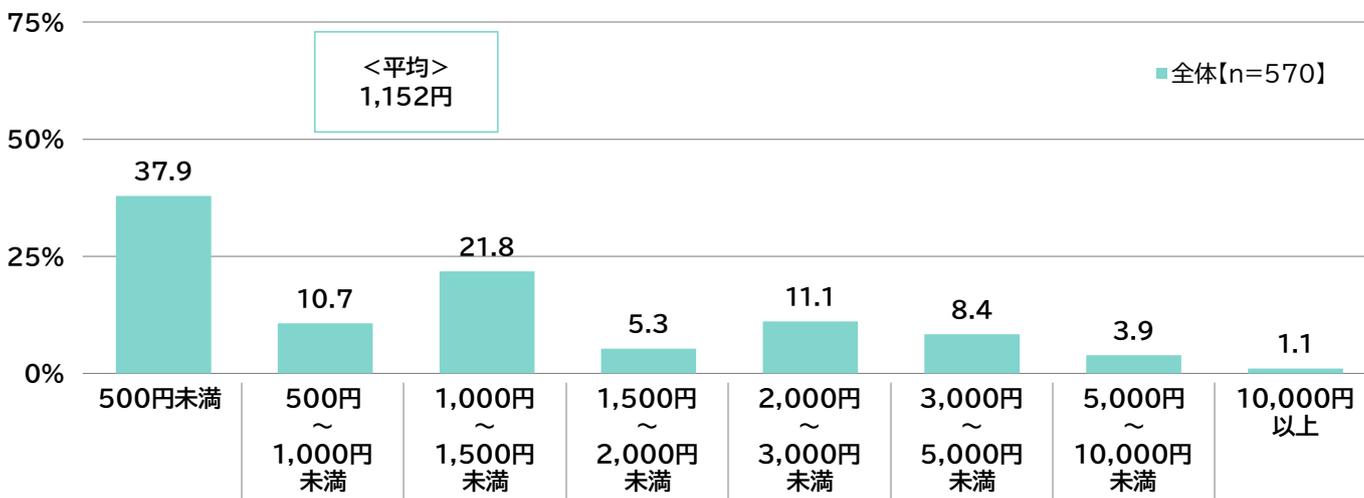
対象:UVケア製品を使うことがある人



また、ひと月に、紫外線対策サプリメントの購入にかけてもよいと思う金額はいくらくらいか聞いたところ、「500円未満」(37.9%)や「1,000円~1,500円未満」(21.8%)に回答が集まり、平均は1,152円でした。

◆ひと月に、紫外線対策サプリメントの購入にかけてもよいと思う金額はいくらくらいか [数値入力形式]

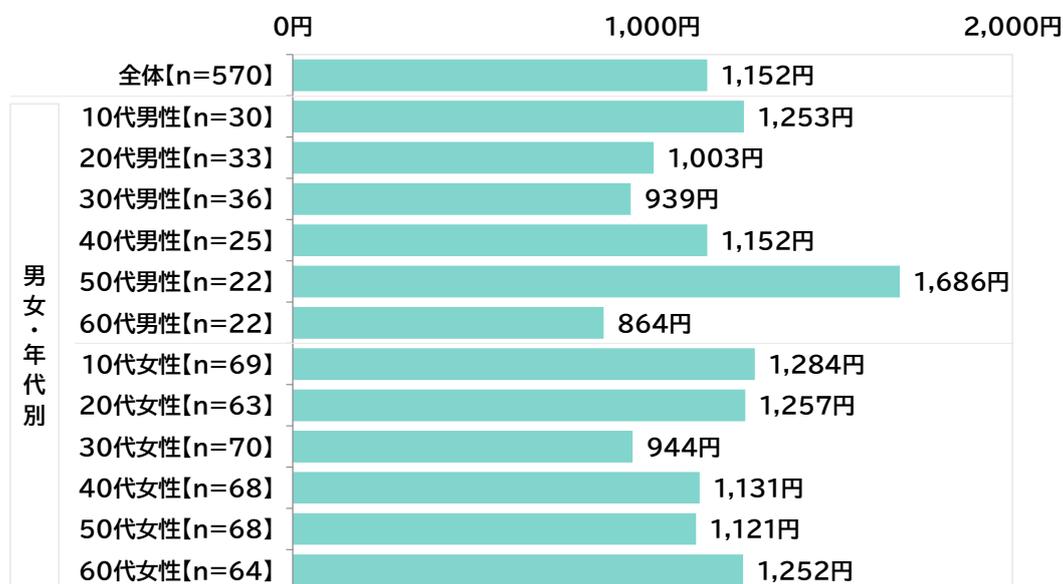
対象:UVケア製品を使うことがある人



男女・年代別にみると、ひと月に紫外線対策サプリメントの購入にかけてもよいと思う金額の平均は、10代女性(1,284円)が最も高くなり、20代女性(1,257円)、10代男性(1,253円)と続きました。

◆ひと月に、紫外線対策サプリメントの購入にかけてもよいと思う金額の平均

対象:UVケア製品を使うことがある人



*n数が30未満の属性は参考値

【UVケアを教えてください、「美肌」のキャラクター】

◆UVケアを教えてください、「美肌」のアニメ・漫画のキャラクター 男性キャラクター1位は「五条悟」、女性キャラクター1位は「ナミ」

最後に、全回答者(1,000名)に、UVケアを教えてください、「美肌」のアニメ・漫画のキャラクターを聞いたところ、【男性キャラクター】では1位「五条悟(呪術廻戦)」(25名)、2位「モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)」(17名)、3位「江戸川コナン(名探偵コナン)」(13名)、4位「野比のび太(ドラえもん)」(11名)、5位「孫悟空(ドラゴンボール)」(10名)、【女性キャラクター】では1位「ナミ(ONE PIECE)」(28名)、2位「峰不二子(ルパン三世)」(15名)、3位「源静香(ドラえもん)」(13名)、4位「キティ・ホワイト(ハローキティ りんごの森シリーズ)」(10名)となりました。

◆UVケアを教えてください、「美肌」のアニメ・漫画のキャラクター [各自由回答形式] ※上位10位を表示 全体[n=1000]

順位	男性キャラクター	名
1位	五条悟(呪術廻戦)	25
2位	モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)	17
3位	江戸川コナン(名探偵コナン)	13
4位	野比のび太(ドラえもん)	11
5位	孫悟空(ドラゴンボール)	10
6位	ドラえもん(ドラえもん)	9
7位	サンジ(ONE PIECE)	8
	ロイド・フォージャー(SPY×FAMILY)	8
9位	壬氏(薬屋のひとりごと)	7
	竈門炭治郎(鬼滅の刃)	7

順位	女性キャラクター	名
1位	ナミ(ONE PIECE)	28
2位	峰不二子(ルパン三世)	15
3位	源静香(ドラえもん)	13
4位	キティ・ホワイト(ハローキティ りんごの森シリーズ)	10
	星野アイ(【推しの子】)	10
6位	月野うさぎ(美少女戦士セーラームーン)	9
7位	竈門禰豆子(鬼滅の刃)	7
	アーニャ・フォージャー(SPY×FAMILY)	6
8位	フリーレン(葬送のフリーレン)	6
	ヨル・フォージャー(SPY×FAMILY)	6
	竜崎麗香(エースをねらえ!)	6

《調査概要》

調査タイトル	: UVケア・紫外線対策に関する調査2024
調査対象	: ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする 15歳～69歳の男女
調査地域	: 全国
調査方法	: インターネット調査
調査期間	: 2024年1月30日～1月31日の2日間
有効回答数	: 1,000サンプル

(内訳)年代によりほぼ均等割付

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	83	83	84	84	83	83	500
女性	83	83	84	84	83	83	500

実施機関 : ネットエイジア株式会社

<ILACY(アイラシイ)>

株式会社アドバンスト・メディカル・ケアは、「ILACY(アイラシイ)」(<https://www.ilacy.jp/>)を運営しています。

「ILACY(アイラシイ)」は、女性ホルモンマネジメント®、更年期、婦人科疾患、ヘルスケア、エイジングケア※など
レースのように繊細にゆらぐ大人女性の心と体の悩みについて、

医療の専門家をまじえた情報を発信するメディアです。 ※年齢に応じたお手入れのこと。



報道関係の皆様へ

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ILACY(アイラシイ)調べ <https://www.ilacy.jp/>」と
付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

会社概要

会社名	: 株式会社 アドバンスト・メディカル・ケア
所在地	: 〒107-6206 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー6F
設立	: 2006年2月14日
代表者	: 代表取締役社長 古川 哲也
URL	: https://www.amcare.co.jp/
業務内容	: 医療、健康診断事業に対するコンサルティング 医療施設経営に関するサポート 医療従事者及び医療補助者の教育及び研修 化粧品、サプリメントの販売 労働者派遣事業(許可番号: 派 13-309739) 有料職業紹介事業(許可番号: 13-ユ-308439)